

■ フルドレーンの施工方法 ■



1

フルドレーンのメス（凹）側接合面のシール溝に沿って専用のジョイントシール材を貼り付けます。

ジョイントシール材は定尺品ですので、余ったシール材は切ってお使いください。



2

フルドレーンの専用吊り治具を使用し、静かに吊り下ろし施工してください。

製品や吊り金具に衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないでください。また、吊り治具のシャックル以外の部分で吊らないでください。



3

ジョイントプレートで連結します。



4

グレーチングを掛けます。

フルドレーンのグレーチングは、パンチ穴形状の為、土砂の流入が少量になります。又、跳ね上げ防止の爪が設けてあります。



⚠ 製品取扱い上のご注意とお願い

路盤工転圧時においては、大型のロードローラー等が側溝に直接当たったり乗り上げたりしますと、破損の原因となりますのでご注意ください。

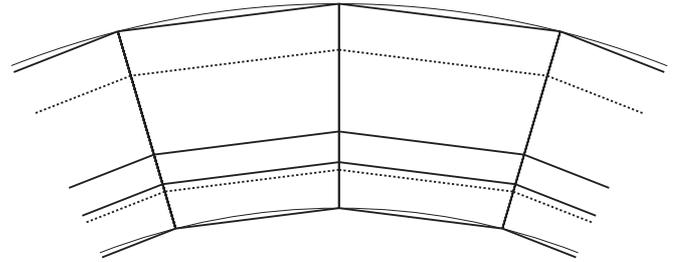
■ R 施工資料 ■

現場の状況により、1 m物及びビッターで切断した短尺や扇形等の役物を使い分けます。
又、開口部の目地詰めは、専用のR施工用具を用いて施工します。

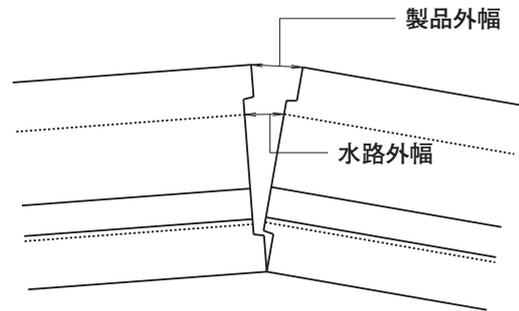


R施工用具

■扇形で施工した場合



■標準サイズで施工した場合



フルドレーンR施工目地間隔表

単位：mm

R (m)	外 R				内 R			
	L=2000		L=1000		L=2000		L=1000	
	製品外幅	水路外幅	製品外幅	水路外幅	製品外幅	水路外幅	製品外幅	水路外幅
4	282	219	137	107	322	250	156	121
6	184	143	91	71	200	155	99	77
8	137	106	68	53	145	113	72	56
10	109	85	54	42	114	89	57	44
20	54	42	27	21	55	43	28	22
30	36	28	18	14	37	28	18	14
40	27	21	14	11	27	21	14	11
50	22	17	11	8	22	17	11	8
60	18	14	9	7	18	14	9	7
70	15	12	8	6	16	12	8	6
80	14	11	7	5	14	11	7	5
90	12	9	6		12	9	6	
100	11	8	5	4	11	8	5	4

※ここでの外R及び内Rは車道側より見た場合の外Rと内Rです。